

ソングライター 「マシコタツロウ」 キャリア20年記念の 初フルアルバム リリース!



“音楽人としてのアイデンティティは
果たしてどこにあるのだろうか”

一青窈「もらい泣き」でスタートしたメロディメーカーとしてのキャリア。
20年間誰かのために曲を作ってきたが、
今回は「本気で自分の為だけに書いてみよう」とアルバム制作を開始。
アーティストックでマニアックな作品ばかりになるかと思いきや、
他アーティストへの提供曲にも劣らないポップな曲たちが完成した。
作家としてのアイデンティティを再確認することになった、
全11曲収録の自身初のフルアルバム。

2023.1.18 (wed) Release

CITY COUNTRY PRESENT PAST

収録曲 (全曲 作詞・作曲: マシコタツロウ)

01. 区画整理できないマイハー 02. オレンジの逆光 03. ヘイナルボン 04. 名もないペンキ塗りの詩 05. 未熟
06. プレゼント 07. JB Freeway 08. Off White 09. ハッピーエンド 10. 手紙 11. 紙ネクタイ

タイアップ情報

「JB Freeway」読売テレビ「にけっつ!」10月・11月度エンディングテーマ
「ヘイナルボン」テレビ埼玉「いろはに千鳥」11月中旬～12月度エンディングテーマ
「紙ネクタイ」西日本シティ銀行 TVCM

NOW PRINTING

¥3,000(税込) YRCN-95373

 YOSHIMOTO
MUSIC CO.,LTD.

マシコタツロウ

1978年 茨城県出身／

作曲家・作詞家・シンガーソングライター

○来歴

- 4歳 ピアノ教室に通い始める。(～13歳)
- 11歳 YAMAHAV50を買ってもらい作曲を始める。
卒業文集の将来の夢に「作曲者」と書く。
- 12歳 カセットMTRをお年玉で購入。多重録音にハマる。
- 13歳 ギターに目覚め、バンドでギターを担当。
- 15歳 新バンドにてボーカルを担当。
- 17歳 新バンドにてギターを担当。
- 19歳 新バンドにてベースを担当。
- 21歳 同バンドにて島村楽器主催オーディション「HOTLINE」全国大会出場。
- 22歳 デモテープを送ったレコード会社、2社から好感触な連絡が来る。上京。
- 23歳 所属先の事務所にて一青窈と出会う。一青窈デビューのための楽曲制作を始める。
- 24歳 一青窈「もらい泣き」で作曲家デビュー&
マシコタツロウ名義でシンガーデビュー(日本コロムビア)



20周年アニバーサリー 初フルアルバムリリースにあたって

2002年10月30日。一青窈のデビュー曲「もらい泣き」の発売日。

3人連名の作曲者クレジットには[マシコタツロウ]の文字。心が躍りました。ちょっとでも目立ちたいという思いがあったのかも、そんなカタカナ7文字を名乗ってメロディメーカー人生はスタートしたのです。

時は流れて2022年。

今もこうして音楽の世界にいられるとは、夢みたいなお話です。

日頃からお世話になっている皆様のおかげです。

改めまして、心より感謝申し上げます。

20年間誰かのためのメロディーを作ってきましたが、「私の音楽人としてのアイデンティティは果たしてどこにあるのだろうか」そんなことをこの周年イヤーにふと思ったのです。

だったら、本気で自分の為だけに曲を作ってみよう制作したのがアルバム「City Country Present Past」です。

そして、その中に答えがありました。

結論から言えば、誰かに書いた曲であろうと、自分に書いた曲だろうと、曲を作ることが単に大好きでそれこそが書き続ける原動力になっているということです。

アーティストックでマニアックな作品ばかりになるかと思いきや、提供曲にも劣らず、さらにポップな曲だらけになりました。

やはり私にはJ-pop作家が適正なのかなと、再認識したアルバム制作でした。

多くの日本人の心に引っかかるメロディ

多くの日本人に耳馴染みのいい(普遍的な)メロディ

多くの日本人が何度も聞きたくなるメロディ

それが私の制作物の特徴であり、常に目指すところなのかなと、再確認しました。

コロナ禍で逃げ込んだ、外房の海沿いのボロ借家で作り上げた曲たちです。

新たな地で出会った仲間、出来事、風景、感情は意外にも、

出身地の茨城で過ごした、作曲家を目指した10代の頃に

体験したものに似て、何かピュアなものばかりでした。

そんな体験をもとに、これまでの人生にも想いを馳せながらアルバムにしました。

故郷茨城も、本拠地東京も、ランチである千葉もすべては大きな庭のようにつながっているし、今の自分を作っているものは生まれてからずっとつながっている私の命なんだと改めて感じます。

これからも都会・田舎・現在・過去、

この4次元のような庭で心と体を自由に行き来させながら、

大好きな曲作りを続けていきたいと思います。

マシコタツロウ

提供楽曲

- 嵐
 - 「むかえに行くよ」(作詞・作曲・編曲)
 - 「消えぬ想い」(作曲・編曲 市川喜康・ha-jと共作)
 - 「花火」(作詞・作曲)
- 関ジャニ∞
 - 「さよならはいつも」(作詞・作曲)
 - 「MyLastTrain」(作曲)
 - 「cinematic」(作詞・作曲)
 - 「8年物」(作詞・作曲)
 - 「スベアキー」(作曲)
- 渋谷すばる
 - 「words」(作曲・編曲)
 - 「記憶」(作詞・作曲)
 - 「護り歌」(作曲・編曲) (作曲渋谷すばると共作)
- 渋谷すばる・丸山隆平
 - 「道」(作曲)
- Kis-My-Ft2
 - 「キミとのキセキ」(作詞・作曲 市川喜康・ha-jと共作)
 - 「3.6.5」(作曲 市川喜康・ha-jと共作)
 - 「ツバサ」(作詞・作曲・編曲 市川喜康・ha-jと共作)
 - 「君、僕。」(作詞・作曲・編曲ASA HARU・ha-jと共作)
- KinKiKids
 - 「いつでもどこへでも」(作詞・作曲)
 - 「Harmony of December」(作詞・作曲)
 - 「サマルエカダス～anotheroasis～」(作詞・作曲)
 - 「変わったかたちの石」(作曲)
 - 「ちがう道、同じ空」(作詞・作曲・編曲 市川喜康・ha-jと共作)
 - 「杪夏」(作詞・作曲)
 - 「新しい時代」(作曲)
 - 「高純度romance」(作曲)
- ジャニーズWEST
 - 「ジバング・おおきに大作戦」(作詞・作曲・編曲市川喜康・ha-jと共作)
 - 「Colorful Magic」(作詞・作曲・編曲市川喜康・ha-jと共作)
 - 「ManbodeWest!」(作詞・作曲・編曲市川喜康・ha-jと共作)
- SMAP
 - 「ユーモアしちゃうよ」(作曲 市川喜康と共作)
 - 「Mr.S-SAITEIDESAIKOUNOOTOKO」(作詞・作曲・編曲 市川喜康・ha-jと共作)
- V6
 - 「Roadshow」(作詞・作曲・編曲 市川喜康・ha-jと共作)
 - 山下智久
 - 「いっしょ。」(作曲 市川喜康・ha-jと共作)
- EXILE
 - 「あなたへ」(作曲)
 - 「命の花」(作曲)
- EXILETAKAHIRO
 - 「約束の空」(作曲)
- 郷ひろみ
 - 「走れメロス～ニードロップ～」(作詞・作曲)
 - 「僕の勇氣」(作詞・作曲)
 - 「マリオネット」(作詞・作曲)
- 香西かおり
 - 「夕化粧」(作曲)
- 塩ノ谷早耶香
 - 「DearHeaven」(作曲)
 - 「YOU&ME」(作詞・作曲 塩ノ谷早耶香と共作)
- 斎藤工
 - 「燦々」(作詞・作曲)
 - 「サクライロ」(作曲)
- SILVA
 - 「キライ」(作曲)
 - 「愛ひらひらと」(作曲)
- TUBE
 - 「響け、夏詩」(作曲)
- DEEP
 - 「君じゃない誰かなんて～Tejina～」(作詞・作曲・編曲)
 - 「たとえ100の言葉でも」(作詞・作曲)
 - 「夜風」(作曲)
- 中村雅俊
 - 「空蝉」(作曲)
 - 「すみれ色の空に」(作詞・作曲)
- 中森明菜
 - 「うつつの花」(作曲)
- 林家たい平
 - 「芝浜ゆらゆら」(作詞・作曲・編曲)
 - 「一緒にいよう」(作詞・作曲・編曲)
- 一青窈
 - 「もらい泣き」(作曲 武部聡志・満洲大智と共作)
 - 「心変わり」(作曲)
 - 「大家(タージャー)」(作曲)
 - 「ハナミズキ」(作曲)
 - 「いろはもみじ」(作曲)
 - 「ホチKiss」(作曲)
 - 「ドミノ」(作曲)
 - 「芽ぐむ」(作曲)
 - 「宙ふらりん」(作曲)
 - 「はじめて」(作曲)
 - 「らぶれたあ」(作曲)
 - 「ワイヤレス」
 - 「ブーケ」(作曲)
 - 「6分」(作曲)
- 藤原道山
 - 「春告鳥」(作曲)
 - 「夕虹は晴れ」(作曲・編曲)
- Bro.KORN
 - 「永遠のmygirl」(作詞・作曲)
- Love
 - 「ずっと」(作詞・作曲・編曲)
- リナ・パーク
 - 「すべてのものにあなたを思う」(作曲)
 - 「LastKiss」(作曲)
- SINDY
 - 「キライ」(作曲)
 - 「愛ひらひらと」(作曲)
- DEL
 - 「春日和」(作詞・作曲)
 - 「FavoriteSmile」(作詞・作曲)
- 中江有里
 - 「YellowLily」(作曲)
 - 「わたしのような誰か」(作曲)
- 河内屋菊水丸
 - 「本日は晴天なり」(作詞)
- 椿
 - 「めぐり逢えたのは夢じゃない」(作詞)
- 相澤巧弥子
 - 「記念日」(作曲・編曲)
- ASUKA
 - 「白椿・紅椿」(作曲)
 - 「神様のバスル」(作曲)
- 恵莉花
 - 「なつかしかなし」(作曲)
 - 「好きで」(作曲)
- 大山百合香
 - 「ブーゲンビレア」(作曲)
- 城南海
 - 「あなたに逢えてよかった」(作曲)
- 吉川友
 - 「アンバランスアンバランス」(作詞・作曲)
- 岸洋佑
 - 「見えない絆」(作詞・作曲)
 - 「スターマイン」(作曲) (作詞岸洋佑と共作)
 - 「Pairticket」(作詞・作曲)
 - 「全部嘘だ」(作詞・作曲)
 - 「夕立LADY」(作詞・作曲)
 - 「silentwall」(作詞・作曲)
 - 「HERO」(作曲・編曲) (作詞岸洋佑と共作)
 - 「♡は嫌っ」(作詞・作曲)
 - 「miss週間」(作詞・作曲)
 - 「記念日」(作詞・作曲)
 - 「Oneday,Everyday」(作詞・作曲)
 - 「Tremolo」(作詞・作曲)
- Mayj.
 - 「theONE」(作詞・作曲)
- 永井真理子
 - 「春風の言葉」(作曲・編曲ha-jと共作)
 - 「逆転の丘」(作曲・編曲ha-jと共作)
 - 「透明な糸」(作曲・編曲)
- 宮田悟志
 - 「僕はコウモリ」(作詞・作曲)
 - 「あの空を忘れない」(作曲宮田悟志と共作)
- 花耶
 - 「白馬の王子と薔薇色の私」(作曲)
- 土屋飛鳥
 - 「Super Sunday」(作詞)
 - 「マディ・シェイク」(作詞・作曲)
 - 「三つ星」(作詞)

その他

- 茨城県立清松高等学校校歌(作詞・作曲)
- 茨城町立青葉小学校校歌(作詞・作曲)
- 茨城町立葵小学校校歌(作詞・作曲)
- 常陸太田市の歌「空があるまち」(作詞・作曲)
- NHK全国学校音楽コンクール中学の部課題曲「桜の季節」(作詞・作曲) (ATSUSHIと共作曲)
- ひたちなか市立美乃浜学園校歌(作詞・作曲)
- 常陸太田市立峰山小学校校歌(作詞・作曲)

ラジオパーソナリティー

【LuckyFM】MUSIC STATE(月～金13:00-16:00) 水曜日担当
※2016年日本民間放送連盟賞 優秀賞を受賞(番組内の茨城弁コーナー)

区画整理できないマイハー

久しぶり昼下がりの 雑多な街並み眺めて歩いていると
あの頃憧れていた カフェやマンション 高価な靴屋も
変わらずに安心したよ
あの時 あの娘 可愛く手を振った改札はない
どこにあったのかさえも分からない

ゴトゴトと電車が走るよ かかとの下で
確かこの辺り 開かずの踏切でケンカしたっけ
区画整理できない心の中
耳を澄ましたら まだ遮断機の鐘が響くようで 響くようで

このビルの上階の片隅 誰もいないバーで聴いた
ニューオーリンズのレコード
ピアノのフレーズがたまらないって
何度も何度も同じ曲をリピートした

伝説の男になるため東京に来たんだろ？
カウンター越しの言葉に奮起した

ドカドカと階段を降りれば 眩しい朝日
確かこの辺り 自転車盗られ 途方に暮れたっけ
区画整理できない心の中
耳をすましたら まだカラスの音が急かすようで 急かすようで

グルグルと地球は回るよ 誰が去っても太陽は登る
でもね それって素敵なことじゃない？
区画整理できない心があれば
あの頃のように まだ どこだって行ける気がするんだ
気がするんだ 気がするんだ

ヘイナルボン

灯油18リッター買って 軽トラに積んだ
陸からの風が巻き上げる 黒い土埃
道にはみ出たマキの木 生垣の向こう
白い そと犬が吠えている 平日の午前
何の変哲もない ヘイナルボンな毎日
何が悪いんでしょう

流れるように 成るように
命はそうして僕に来た
誰のせいじゃない 為じゃない
答えを捨てれば楽になる
探すことをやめれば楽になる

海沿い 有料道路で張り切るカワサキ
コンビニ 駐車場の外れ サーファーの昼寝
糸が絡まる風鈴の濁った音色と
隣人のテレビワイドショー 週末の夕日
何の変哲もない ヘイナルボンな毎日が
僕を僕にする

流れるように 成るように
命はそうして僕に来た
誰のせいじゃない 為じゃない
答えを捨てれば楽になる
探すことをやめれば楽になる

流れるように 成るように
命はそうして僕に来た
誰のせいじゃない 為じゃない
答えを捨てれば楽になる

さあ、今日を生きよう だって明日なんて頼りない
誰のせいじゃない 為じゃない
答えを捨てれば楽になる
探すことをやめれば楽になる

探すことをやめれば楽になる

オレンジの逆光

いつかの夏 置き去られた 誰かのベースボールキャップ
「密漁禁止」のサインボードに ぶらり揺れている
君との日々も あんなふうに うっかり色褪せればいい
勝手に背負い込んだ後悔も下ろせずに...

さっさとせつせと君を忘れよう
あっちへこっちへ自分を連れ出したって
目も耳も鼻も口も 君へとリンクしたがる
散々と清々と捨てた思い出が
あっちへこっちへ迷って 静かに満ちて
また心の裾 濡らす

君と過ごした街に浮かぶ塵や埃は
この浜辺じゃ うねり照らす綺麗な夕日

分かり合えず澁んだあの日も 離れて見れば愛しいけど
何度やり直してもふたりじゃ 汚れた空

さっさとせつせと君を忘れよう
あっちへこっちへ自分を連れ出したって
目も耳も鼻も口も 君へとリンクしたがる
散々と清々と捨てた思い出が
あっちへこっちへ迷って 静かに満ちて
また心の裾 濡らす

厄介だ 厄介だ 波のように押し寄せて
愛情って 愛情って 時に無慈悲なものね
愛は海 まさに愛は海
立ち尽くす僕の 地面まで奪っていく

厄介だ 厄介だ オレンジの逆光だ
愛情って 愛情って 時に無慈悲なものね
愛は盲目 まさに愛は盲目
夕焼け小焼けで 君以外は影

名もないペンキ塗りの詩

宵越しの金は持たない主義だけ
歯の無い俺はペインター タコは飲み物ペインター
ズボンに飛び散る無数のペンキが
俺の勲章ペインター カラフル俺はペインター
出ていった嫁を恨んだって おまんま食えねえんだよ
二度塗り 三度塗り 上塗りして 人生もリフォームしてきた
Better Better Betterな方... な方へ 足を知れ知れ
Better Better Betterな方... な方へ もう欲張んない 欲張んない
養生ばかりでハミ出せない 窮屈なこの世界を
Paint Paint 俺色で生きてやれ

車の免許は持たない主義だけ
分の無い俺はペインター 現場が遠いペインター
暇そうな誰かに運転手任せて
雇用を作るペインター 仕事振る俺はペインター
根腐って 最期待つくらいなら この身で尽くしてえんだよ
滑ったり 落ちたり 怪我しながら 人生もサバイブしてきた
Better Better Betterな方... な方へ 足を知れ知れ
Better Better Betterな方... な方へ もう欲張んない 欲張んない
養生ばかりでハミ出せない 窮屈なこの世界を
Paint Paint 俺色で生きてやれ

心無い上からの嫌味なんて 笑って聞いてやんだよ
合わない馬なら じきに降りて 次は船に賭けてみな
Better Better Betterな方... な方へ 足を知れ知れ
Better Better Betterな方... な方へ もう欲張んない 欲張んない
養生ばかりでハミ出せない 窮屈なこの世界を
Paint Paint 俺色で生きてやれ

プレゼント

高いシャンパンなんて無いし
甘いホールケーキも無いが
スペシャルな今日を放っておく訳にはいかない

生まれた時から止まらずに
その命で歩いてきたんだ
君がいるだけで最高に尊い

何歳になったってバースデイ
花も無い 団子も無い
だけどハッピーハッピーバースデイ
せめてものプレゼント
僕からのプレゼント
ハッピーバースデイ

JB Freeway

助手席に荷物置いて ソーダ水のふた開けて
ひとくちゴクリと飲んでドアとシートに挟んだ
あの頃の僕もそう 早起きが大好きで
どんな遠くまででも行ける気がしてたんだ

信号待ちの間に天気予報をチェックして
たまに雨もいいけどね 今日そんな気分じゃない
鼻先朝日に向け 雨の降らない方角へと
ゆっくりクラッチつないだら 心ごと上げていこう

何のことはない ただのドライブさ 行き先もない
さすらって 無になって アスファルト蹴って
バーが開いたら高速道路

常磐道 常磐道は今日も空いてる
常磐道 常磐道はまっすぐ
そうだよ 常磐道は日本のアウトバーン
気持ちだけ200MPH^{マイル}

学生時代過ごした街を通り越していく
なんやかんやとやったな それ以上も以下もない
みんな敵だと思っていた 不毛な数年間がある
今となっちゃそんな時代が今を作ったと思う

もうすぐ見える団地で家庭教師をやったな
その実 アイドル好きのお母さんとのチャットタイム
あの子成人したかな どんな仕事就いたのかな
見てよ僕は変わらず車好きのおニイちゃん

ここまで来た 生まれた故郷 今日寄らずに
胸張って 頑張って 錦のひとつも
いつか飾ってみせるぜ

常磐道 常磐道は今日も空いてる
常磐道 常磐道はまっすぐ
そうだよ 忘れない1985年
未来へ行ける気がした

常磐道 悲しい一本線もある
常磐道 だけど続いていく
大丈夫だよ 今日常磐道は空いてる
いつだって どこへでも ひたすらに 途切れずに どこまでも

未熟

「一緒に帰ろっか」明るくて 優しい笑顔に
そっと心を惹かれていた
雨上がり線路沿いの道 水たまりかわして
彼女 送り届けた僕は 少し誇らしかった
まだまだ未熟者だよ 制服着ていないだけで
いいぞ いいぞ あの頃の僕
はじめての恋 はじめてのせつなさ

欄間を塞いでいる ロックスターのポスター眺めて
ずっと心を悩ませた
楽器屋の店長に頼んで教わった9thで
彼女の曲作った僕は 少し誇らしかった
まだまだ未熟者だよ
コード譜くらい書けるけど
いいぞ いいぞ あの頃の僕
はじめての憂い はじめてのくやしき

Off White

ホワイトorオフホワイト 塗るならどちら
ホワイトorオフホワイト こころのカラー
ホワイトorオフホワイト 改心するんだ
ホワイトorオフホワイト ホワイトorオフホワイト
純白に生きたいな でも汚れ目立たせたくないが
いずれにしろで 君に謝るよ
真昼間からピアを飲んで
待っている君のコールバック

ビーフorチキン 焼くならどちら
ビーフorチキン 焦がすは慕情
ビーフorチキン お詫びのランチ
ビーフorチキン ビーフorチキン
高タンパクな日々を でもカロリーは抑えて
スパイス効かせ 君に捧げるよ

真昼間からピアを飲んで
待っている君のコールバック

がんばってオフホワイト 戻れぬ無垢よ
がんばってオフホワイト がんばってオフホワイト
限界がオフホワイト こころのカラー
限界がオフホワイト 限界がオフホワイト

真昼間から懺悔の様相
待っている君のフォーギブ

真昼間から懺悔の様相
待っている君のフォーギブ

手紙

ポストの隅 見つけた 消印のない白い封筒
郵便番号なんていないのに...
綺麗な字もすべて君らしい

何度も書き直した表情が 目に浮かぶみたいで
最初の頁読み終える前に 静かに折り畳んだ
裏返した最後の行に透けて見える別れの言葉

さよなら さよなら
その四文字に言い返すことも 言い訳もない
さよなら さよなら
宛どころの無いこの想い

子供の頃幼じみが 玄関にのこした置き手紙
溢れるまでその気持ちに気づけない
情けない僕のままだ

ここから見えた君の部屋の
サンズベリアもどこか消えた

さよなら さよなら
その四文字に言い返すことも 言い訳もない
さよなら さよなら
宛どころの無いこの想い

さよなら さよなら
愛していた まだ愛している
さよなら さよなら
宛どころの無いこの想い

紙ネクタイ

父の日のプレゼント 小学校で作った紙ネクタイ
派手派手にしてやろうと 全部の色を混ぜてみた
夏休み明けの水槽 もしくは花壇の土の様な色
黙って首に巻いて誇らしげに 彼は言った
「ちょっと渋いけどいい感じ」
全肯定 全肯定 全肯定の奇跡
そうやって愛された私だもの
誰かを許したい

バイトとバイクとその他 校則でダメなことばかりやって
卒業式も終えて うまいことやれたと思っていた
時は過ぎて ハタチの飲み会に来てくれた担任の先生
あれもこれも全部お見通しで... 彼は言った
「ちょっと落ちこぼれくらいでもOK」
全肯定 全肯定 全肯定の奇跡
そうやって愛された私だもの
誰かを許したい

飾れる賞など獲ってないけど
全肯定 私の全工程の軌跡
いい歳して何言っただらうかね
でも愛しいんだよ

誰かを妬まないで 恨まずに羨まずに
許して生きてみたい そういう人に 私はなりたい